

超高齢社会に関するアンケートについて

【実施目的】

- 「超高齢社会に対応した生涯学習の在り方について」検討を行うためには、実際に高齢者がどのようなことを感じているのか、どのような学習活動を行っているのか、率直な考え方や活動への参加状況など、生涯学習に関する県民の意識を把握することが必要であること
- 県内でも地域や年齢によって、その状況が異なり、地域別・年齢別の考え方、感じ方を把握することが必要であること
- 世代間交流の状況について、十分な統計データがないため、その状況を調査することが必要であること

以上のことから、アンケートを実施する。

【実施方法】

- 社会福祉協議会が事務局となって行っている「あいちシルバーカレッジ」において、アンケート用紙を配布する。(60歳以上の方への調査)
 - ⇒ 生涯学習に積極的な集団へのアンケート

- 各市町村の老人クラブを抽出して、アンケート用紙を配布する。
 - ⇒ 必ずしも生涯学習に積極的とは言えない方を含む集団へのアンケート

- 本課の主催する青年講座、女性教育指導者研修会の参加者に、アンケート用紙を配布する。
 - ⇒ 世代間の交流についての考え方、感じ方を収集する。

学習活動への参加意向（実態）

（学習活動への参加状況や参加意向について）

（問5）あなたは、どのような学習活動に参加したいと思いますか。（複数回答）

- ① カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動
- ② 地方公共団体など公共機関や大学などが開催する一般市民向けの公開講座や学習活動
- ③ 地方公共団体など公的機関が高齢者専用には設けている高齢者学級（シルバーカレッジ）や老人大学
- ④ テレビ、郵便、インターネットなど通信手段を用いて自宅にいながらできる学習
- ⑤ 大学や大学院への通学
- ⑥ 放送大学などの通信制の学習
- ⑦ 各種専門学校への通学
- ⑧ その他の学習（例：ひとりで本や雑誌を読むような学習）
- ⑨ そのような学習活動には参加したくない（参加するつもりはない）

（問6）あなたは、実際にどのような学習活動に参加していますか。（複数回答）

- ① カルチャーセンターなどの民間団体が行う学習活動
- ② 地方公共団体など公共機関や大学などが開催する一般市民向けの公開講座や学習活動
- ③ 地方公共団体など公的機関が高齢者専用には設けている高齢者学級（シルバーカレッジ）や老人大学
- ④ テレビ、郵便、インターネットなど通信手段を用いて自宅にいながらできる学習
- ⑤ 大学や大学院への通学
- ⑥ 放送大学などの通信制の学習
- ⑦ 各種専門学校への通学
- ⑧ その他の学習（例：図書館を利用した学習）
- ⑨ 参加したいが、参加していない
- ⑩ もともと、そのような学習活動には参加していない

(問7) あなたは、学習した成果をどのように活用していますか。(複数回答)

- ① 自身の生活を豊かにするために活用している
- ② 家庭生活・日常生活で活用している
- ③ 健康を維持するために活用している
- ④ 仕事に役立てるために活用している
- ⑤ ボランティア活動、地域参加活動で活用している
- ⑥ 資格を取得するために活用している
- ⑦ 他人の学習等への指導(補助)を行うために活用している
- ⑧ その他
- ⑨ 活用したいと思っているが、どのように活用していいかわからない
- ⑩ 活用していない(活用したいと思わない)

(問8) あなたは、今後学習を行うにあたって、どこが実施する事業に参加したいと思いますか。(複数回答)

- ① 県や市などの公の機関
- ② カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間施設
- ③ 各種団体やNPOなどの民間団体
- ④ 大学や大学院
- ⑤ 自主的なグループやサークル
- ⑥ 専門・専修学校など
- ⑦ その他
- ⑧ 特にない

自主的な活動と生きがいの関係について

(問9) あなたは、現在、どの程度生きがいを感じていますか。

- ① 十分感じている (→ 問10、11へ)
- ② 多少感じている (→ 問10、11へ)
- ③ あまり感じていない (→ 問11へ)
- ④ まったく感じていない (→ 問11へ)
- ⑤ わからない (→ 問11へ)

(問10) あなたが生きがいを感じるのはどのような時ですか。

- ① 勉強や教養など学習活動を行っているとき
- ② 趣味やスポーツ活動を行っているとき
- ③ 夫婦や孫など家族団らんのとき
- ④ 友人や知人と食事や雑談をしているとき
- ⑤ ボランティアや地域活動を行っているとき
- ⑥ 他人から感謝されたとき
- ⑦ 若い世代と交流しているとき
- ⑧ その他 ()
- ⑨ わからない

(問11) あなたは、この1年間に、個人または友人と、あるいはグループや団体で自主的に行われている次のような活動に参加したことがありますか。

- ① 道路・公園の清掃活動や草取りなどの共同作業
- ② 自治会・町内会・老人クラブなどの活動
- ③ 運動会・盆踊り・お祭りなどレクリエーション活動
- ④ 廃品回収や不用品の交換会などのリサイクル活動
- ⑤ PTA活動
- ⑥ 子ども会や少年スポーツチームの指導や世話
- ⑦ 野球やバレーボールなど、スポーツのサークル活動
- ⑧ 音楽・写真・学習会など、文化サークル活動
- ⑨ 防火や防災訓練活動
- ⑩ 防犯や交通安全活動

- ⑪ 高齢者や障害のある方への手助けなどの活動
- ⑫ 子育て支援にかかわる活動
- ⑬ シルバー人材センターでの活動
- ⑭ その他
- ⑮ 活動・参加したいものはない

世代間交流への参加意向について

(世代間交流への考え方、交流状況について)

(問 1 2) あなたは、世代間の理解を促進するための活動(世代間交流)について、どのように考えていますか。

- ① 積極的に参加したい
- ② できる限り参加したい
- ③ あまり参加したくない
- ④ まったく参加したくない
- ⑤ わからない

(問 1 3) あなたは、異なる世代と交流していますか。

- ① ほぼ毎日、交流している
- ② 週に数回程度、交流している
- ③ 月に数回程度、交流している
- ④ 年に数回程度、交流している
- ⑤ めったに交流していない
- ⑥ まったく交流していない

(問 1 4) (問 1 3で①～④と回答した人に対して)

あなたは、家族以外の方との交流について、どのような世代との交流が多いですか。(複数回答)

- ① 就学前の世代
- ② 小学生の世代
- ③ 中学生・高校生の世代
- ④ 大学生(大学院生)の世代
- ⑤ 壮年の世代(25歳～44歳とします)
- ⑥ 中年の世代(45歳～64歳とします)
- ⑦ 高年の世代(65歳～とします)

(問15) (問13で①～④と回答した人に対して)

あなたは、異なる世代の方とどのような交流をしていますか。

(複数回答)

- ① 町内会・自治会等を通じた交流
- ② 祭りなど地域の行事を通じた交流
- ③ 健康・スポーツ活動を通じた交流
- ④ 文化・芸術活動を通じた交流
- ⑤ 学習活動を通じた交流 (小学校等における活動を含む)
- ⑥ ボランティアやサークル活動を通じた交流
- ⑦ インターネットを通じた交流
- ⑧ その他 ()

(問16) (問13で⑤、⑥と回答した人に対して)

あなたは、異なる世代の方と「交流していない」理由は何ですか。

(複数回答)

- ① 話・趣味が合わないから
- ② 気を使うのは煩わしいから
- ③ 特に必要があるとは思わないから
- ④ 特にそのような機会がないから
- ⑤ その他 ()

調査対象者の属性について

記入事項は次のとおり

- ・回答者の年齢
- ・回答者の性別
- ・回答者の世帯構成
- ・回答者の居住する地域 (市町村名)